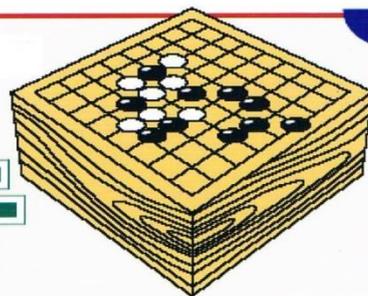


会報 第21号 平成26年1月30日

栄区囲碁ファンにおくる囲碁情報紙

さかえの石音

いしおと



栄区囲碁普及会・栄区囲碁連盟・日本棋院横浜栄支部

“囲碁王国を願って！”(各代表が抱負を語る)

“輪”の力で
底辺の広がりを！

栄区囲碁連盟
会長 三間修司

今年、プロの世界では井山裕太六冠が夢の七冠なるかはたまた誰がそれを阻止するのか眼を離せない一年になると思います。



井山九段の活躍が次を担う世代に刺激を与え囲碁界は活性化しているようです。ひるがえって囲碁連盟としては今年の抱負として次の二点を挙げたいと思います。

1) 囲碁大会の充実

最大イベントになりつつある地域交流囲碁大会をはじめ年間5つの大会を企画・運営していますが、常に新しい趣向を取り入れるよう努力しながら会員及び囲碁愛好家の皆様に満足して楽しんで頂けるような大会を目指します。

2) 高齢化からの脱却への模索

底辺を広げる努力が実っていけば若い世代の参加も増え高齢化も徐々に緩和されていくこととなります。現在普及活動は囲碁普及会が主になって担っており、その地道な努力には敬意を表します。囲碁連盟においても人材を生かし、協力して行く道があるのではないかと感じています。それには会員の皆さまの協力が不可欠ですが、普及会をはじめ関連団体と図りその道を模索して行きたいと考えています。

子供に囲碁を！

栄区囲碁普及会
会長 杉浦次利

本会では、はまっ子などで普及活動を行っています、より活発化するには多くの



方々に携わって頂くことだと思います。

はまっ子などで子供と遊んでも良いという方々が増えれば今まで活動している方々と共に活動してもらえたり、新しい学校を開拓したり出来るものと思います。

目黒区で行った「囲碁ボランティア養成講座」では、棋力10級以上なら子供に囲碁を「教えるというより嫌いにならないように遊ぶことが大切」と言っていました。そこで教室上級者の方々の協力を求めて行く方向で検討したいと思っています。



区民の輪が益々
拡大定着するこ
とを！

日本棋院横浜栄支部
支部長 佐野嘉男

新年おめでとうございます。昨年11月肥塚支部長の後を受けて支部長に就任しました。思えば、平成20年1月発行の「さかえの石音」第5号に栄区囲碁連盟会長(当時)として「区民交流の輪を大きく広げよう」という新年の抱負を述べさせて頂きました。あれから6年「栄区囲碁連盟」も「栄区囲碁普及会」もまたその卒業生で構成される「楽碁会」も、そして7年目を迎える「日本棋院横浜栄支部」も、それぞれの役割をきっちり果たした結果夫々に素晴らしい発展を遂げてきています。又、それらの組織の連携も極めて円滑であり、6年前の私の抱負が現実のものになってきていることが実感され、大変嬉しくまた誇らしく感じております。

囲碁を通じて出来上がったこの大きな区民の輪が益々拡大し定着していくことを切に願っています。

「第7回栄区地域交流囲碁大会」

栄区囲碁連盟

今や大人気の地域交流囲碁大会が、1月12日開催された。今年の幕開けに相応しく区内各地区より囲碁愛好会や囲碁クラブなど<24チーム>が集結し熱戦を繰り広げた。大会終了後は懇親会で、さらに交流の輪が広がった。



5人ずつ対峙していざ!



懇親会の交流も楽し!

【大会は<Aブロック><Bブロック>各12チームに分かれ各4回戦を楽しんだ】

<Aブロック>成績優秀チーム		個人全勝者 (順不同)
優勝	本郷台囲碁クラブ F	小網三段、小原三段、
準優勝	いの山プラチナ囲碁クラブ B	西条初段、山本六段、
3位	緑石会	千葉七段、片山五段
敢闘賞	棋楽会 A	安藤五段



<Aブロック>優勝: 本郷台囲碁クラブ F

ブロック		個人全勝者 (順不同)
優勝	湘南桂台囲碁愛好会 A	三箇二段、株木二段
準優勝	上郷金	高橋二段、澤田二段
3位	桂台自治会囲碁クラブ B	乙川二段、今澤二段
敢闘賞	いの山プラチナ囲碁クラブ A	須山1級、田辺1級 長江二段



<Bブロック>優勝: 湘南桂台囲碁愛好会 A

‘13 栄区民芸術祭 囲碁まつり

栄区文化協会主催(栄区囲碁連盟主催、栄区囲碁普及会協力)の恒例「囲碁まつり」が11月4日に、栄公会堂と本郷地区センターに分かれて開催された。

日本棋院から熊ホウ六段と井澤秋乃四段を招聘し指導碁、大盤解説をお願いした。囲碁まつりに相応しく子供、女性も多く参加し150人以上の囲碁ファンが楽しい1日を過ごした。



栄区文化協会 風間会長(左)と三間連盟会長の開会挨拶と熱戦が始まった会場



栄区囲碁普及会主催「初級教室」



栄区囲碁連盟主催「指導碁」、「大盤解説」



第一回栄ペア碁大会 日本棋院横浜栄支部主催

9月16日(月・祝)「あーすぷらざ」において第1回栄ペア碁大会は日本棋院栄支部主催で開催された。台風18号が上陸、根岸線が止まると云う最悪の条件にも関わらず、運営にあたった熱心なボランティアに支えられて進行した。

親子ペア、普及会の師弟ペア等参加者も多彩に20チームが3クラスに分かれ3回戦を戦った。参加者からは「楽しかった」「勉強になった」と好評を得た。この大会の優勝ペアは栄区代表として第3回県親善ペア碁大会に参加した。

◆ 成績 優勝	準優勝	3位
クラスA 向原・荒浪p	森・高橋p	小野・清水p
クラスB 柴田・肥塚p	廣本・今岡p	
クラスC 諸星・酒井p	近藤・小田p	片山親子p

◆10月27日宇宙棋院で開催の県親善大会に6組が代表として参加、善戦したが入賞は果たせなかった。



会場は女性も一杯



大会参加のペアの皆さん ↓



日本棋院横浜栄支部 第12回認定大会

12月23日(月)あーすぷらざにて開催され、54名が段級位認定に挑戦した。日本棋院から黒瀧七段が参加、大盤解説や指導碁にあたった。指導碁では12人が挑戦、小田(泰生)六段がからくも勝利、大盤解説では囲碁格言をユーモアを交え解説、多くの囲碁愛好家の好評を博した。

段級位認定者	初段・二段	6名
	級位	14名



初段位獲得の
広田君(小6)



二段位獲得の
植田さん



黒瀧・七段



熱戦の大会風景

肥塚棋院横浜栄支部長勇退

横浜栄支部開設以来6年余に亘って、支部を先頭に立って引っ張り、全国有数の支部に育て上げた



肥塚支部長が平成25年12月末をもって退任、顧問に就任した。後任には元栄囲碁連盟会長の佐野嘉男氏が就任した。

◆ 栄区囲碁普及会短信

本郷小学校地域フェスティバルに参加

11月9日、本郷小学校で開催の同フェスティバルに囲碁教室を開催、生徒等20名が参加しインストラクター7名が指導に当たった。

3世代地域交流会（栄高校）囲碁教室

11月14日、囲碁普及会から毎年参加している同交流会が学校側から要請があり、囲碁初級教室を開設、当普及会から7名のインストラクターが参加、19名の生徒、保護者の指導に当たった。



三世代地域交流会・
囲碁教室風景



囲碁普及会 HP 準備中

栄区囲碁普及会のホームページを4月開設予定で谷淵幹事を中心に準備中。

学校囲碁指導員資格10名が取得

日本棋院・文京区役所内で開催された日本棋院主催（講師・黒瀧正憲七段）の学校囲碁指導員講座に普及会から10名が参加し指導員資格を得た。

小中学校囲碁教育支援を強化

普及会次年度の活動方針の柱の一つとして小中学校のはまっこやクラブ活動での教育支援を強化することになり、今井幹事を中心に活動を始めた。

【編集後記】今年も地域交流囲碁大会でスタートを切った栄区の囲碁行事はこの後も目白押しである。関連団体の代表者の抱負の如く、団体相互の協力体制をより深め、囲碁愛好者の期待に応える年に、と願っている。

◆ 2014年栄区囲碁カレンダー

1月12日	栄区地域交流大会	(連盟)
2月16日	第6回鎌倉子供囲碁大会	(鎌倉市)
2月17日	上郷森の家囲碁大会	(棋院・後援)
3月01日	学校囲碁指導員講習会	()
3月02日	春の文化祭・区民大会	(文協)
3月22日	15期上達コース修了式	(普及)
3月23日	15期初級コース修了式	(普及)
4月05日	16期上達コース開講式	(普及)
4月06日	16期初級コース開講式	(普及)
6月01日	横浜市各区対抗戦	(市連合)
6月03日	囲碁連盟・会員大会	(連盟)
6月15日	横浜市級位認定大会	(市連合)
6月15日	棋院支部段級位認定大会	(棋院)
6月15日	親子囲碁教室	(棋院・普及)
7月21日	こどもとおとなの囲碁大会	(普及)
9月06日	栄区民秋季大会	(連盟)
9月15日	第2回栄ペア碁大会	(棋院)
10月26日	神奈川県ペア碁大会	(県連盟)
11月02日	横浜市各区対抗戦	(市連合)
11月03日	秋の芸術祭・囲碁まつり	(文協)
11月16日	横浜市囲碁段位戦	(市連合)
11月21日	楽碁会・3部会合同大会	(楽碁会)
12月23日	棋院支部段級位認定大会	(棋院)
12月23日	親子囲碁教室	(棋院・普及)

注) 紙面の都合上、一部載せていない大会があります
注) 開催日は変更になる場合があります、事前に案内します
ポスター、広報等で確認願います

普及 (栄区囲碁普及会) **連盟** (栄区囲碁連盟)
棋院 (日本棋院横浜栄支部) **文協** (栄区文化協会)
市連合 (横浜市囲碁連合会)
県連盟 (神奈川県囲碁連盟)

第6回鎌倉子供囲碁大会参加者募集中

日時： 2月16日(日) 11時～16時
場所： 鎌倉市 円覚寺・大方丈書院
対象： 入門から有段者
問合先： 青井 (892-5636)
主催： 鎌倉市子供囲碁大会実行委員会
後援： 鎌倉市

◆編集委員：牧野博、道休俊和、臼井道雄、橋本侃、
山中正巳、佐藤中勇、興野富男、小田武史、
谷淵邦彦

◆発行者：杉浦次利 (栄区囲碁普及会々長)